



迎春

議会運営委員会・理事兼委員
県土整備委員会・委員
住・ひと・しごと対策調査特別委員会・委員
福岡県議会議員 **神崎 聡**

新年を迎えられ、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
二期目となり、重要な役割とポストを頂き、議会と委員会、議連に会派活動と目の回る忙しさにあります。議長からの指名で、南米（ブラジル・ブラジル・アルゼンチン）に知事、議長と共に公式訪問団の議会代表として、十一月十日から二十一日まで訪問して参りました。また十一月二十五日からタイ・バンコクへ、福岡方式による産業物産分視察等、公式訪問がありました。
地元田川では、十月二十日に福智町・糸田町・香春町に、知事のふるさと訪問が行われ、小川知事も地域の課題や要望に真摯に耳を傾けられ、一緒に相談しながら執行部に陳情・要望に込められるよう指示がされました。
これからも田川の皆さんの責任に込めるため、田川地域の地方創生や教育問題など様々な課題に対して、施策を提言し、県執行部とともに、取り組んで参ります。
今後とも、皆様のさらなるご指導、ご鞭撻、またご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

ブログ報告



動画報告



フェイスブック



フェイスブックページ



ツイッター



知事のふるさと訪問

住・ひと・しごと創生調査特別委員会



果樹議員連盟現地視察

9月定例県議会 一般質問

一・観光立県・街歩きを取り組みについて

- ①日本遺産「認定に向けた県の取組み」
- ②「日本遺産」認定の事業と効果
- ③九州オルレと日本遺産の観光への活用
- ④九州自然歩道の施設整備と災害対応
- ⑤九州自然歩道の利用促進
- ⑥「あつたがわの旅」の所見と今後の活用
- ⑦外国人観光客の誘客について

【城戸教育長】

①「日本遺産」事業とは、地域に点在する有形・無形の文化財を一体的に整備・活用することにより、地域の歴史的魅力や特色を物語として国内外に発信し、地域活性化を図ることを目的とするもの。文化庁では、平成32年度までに100件程度認定していく予定で、本年度は全国で18件が認定、本県は、太宰府市における「古代日本の「西の都」〜東アジアとの交流拠点」が認定を受けた。この事業は、地域の歴史や文化財への理解に加え、郷土への誇りを深めることにもつながるものであり、地域振興を図る上で、大変有意義であると認識している。今後とも、市町村の意向を踏まえ、新たな「日本遺産」の認定に向けて、積極的に取り組んでまいらる。

②説明板の設置、ガイドの育成など、文化財を公開・活用するための整備やホームページ等による国内外への情報発信について支援を行う。また、地域内における学校・社会教育において取り上げ、郷土への理解を深める取組みが重要。県教委としては、関係市町村や県の観光、地域振興等の関係部局並びに民間団体の連携・協力を推進し、地域全体で「日本遺産」事業を実施できるよう、技術的助言や支援をしてまいらる。「日本遺産」認定の効果は、点在する様々な文化遺産を整備・活用し、発信することにより、地域のブランド化や地域独自の文化の再確認に繋がっていく。

【小川知事】

③九州オルレは、現在15コースが認定されており、県内には、「宗像大島コース」「八女コース」の2コースがある。「宗像大島コース」は、昨年3月のコース開設からの1年間で6,420人の方が、「八女コース」は、昨年12月の開設から今年8月までの間に1,935人の方が、オルレを楽しむ目的で訪れており、国内観光客だけでなく、韓国人観光客の誘客にも繋がっている。

オルレが成功している要因は、このような、地域の身近な歴史、文化、風景などを、地域の人たちが自ら、掘り起し、ルートを作り、また、訪れた観光客に対し、温かいおもてなしをしていることにあると分析している。今後とも、市町村や九州観光推進機構などと連携して、第3第4のオルレコースを開発するとともに、今までにない観光客のニーズを顕在化させたオルレのように、新しい切り口で観光資源を発掘し、国内外に積極的にPRして、観光客の誘客を図ってまいらる。

④九州自然歩道は、四季を通じて手軽に楽しく歩くことで、豊かな自然や歴史、文化に触れることを目的として設けられたものであり、利用者の皆様に安全、快適に歩いていただくために必要な案内板、標識、ベンチ、階段などの施設を整備しており、経年劣化が進んだ施設については、計画的に再整備を行っている。台風や豪雨により、倒木、路肩の崩壊、案内板や標識などの施設の損傷が生じた場合には、市町村や利用者からの通報に基づき、被害状況を把握した上で、速やかに復旧を行っている。

⑤県内の九州自然歩道のルート上には、太宰府、平尾台、英彦山、求菩提山など、数多くの名所や景勝地が点在しており、観光資源としても、大変魅力あふれる自然歩道であると考えている。これまで、利用促進のため、コースの見どころや周辺の観光情報を掲載したマップを作成し、市町村に配布するほか、県のホームページに掲載している。また、県の広報番組や、沿道の自然を楽しむ自然観察会の開催などを通じて、広く九州自然歩道の魅力を発信し、利用を呼びかけている。さらに、観光資源として活用したいという市町村の意向を踏まえて、昨年度から、新たに、地域の観光情報を盛り込んだ案内板の設置や、日本語と英語の二か国語表記の標識の整備にも取り組んでいる。今後とも、市町村と連携しながら、取り組みの充実を図り、利用促進に努める。

⑥昨年度から実施している体験交流型ツアー「あつたがわの旅」は、田川の隠れた魅力と温かい「おもてなし」を体験できるよう、商店主や青年会議所会員など地元有志がプロデューサーとして、地域自らが考え、行動するものとなっている。こうした取組は、それぞれの地域が、知恵と工夫を凝らし地域資源に磨きをかけ、地域を元気にしていくという地方創生の考え方にも沿ったものであると考えている。今年度は、田川地域全体の魅力に触れていただくため、複数市町村をまわるツアーを増やすほか、地元のガイドが案内する九州自然歩道トレッキング、平成筑豊鉄道の列車運転といった、これまでにない内容のツアーも予定している。今後は、地元のお祭りやイベントなどの開催時期に合わせ、集中的にツアーを実施し、地域の観光資源を知って頂くことで、リピーターの増加を図り、地域の観光振興につなげていきたいと考えている。

質問を終えて

⑦外国人観光客の多くが、日本の歴史・伝統文化や、人々が暮らす日常に触れることを求めて、日本各地を訪れている。今後、多くの外国人観光客を、本県に呼び込むためには、そうした日本を感じることで、魅力的な観光資源を一つでも多く掘り起こすことが大事であると考えている。このため着物を着ての街歩きや、酒蔵巡り、茶摘みなど、日常の日本を体験できるプログラムを開発するとともに、実際に体験いただいた内容を福岡県の多言語観光情報サイト「クロスロードふくおか」等を通じて、積極的に情報発信してまいらる。今後とも、一人でも多くの外国人観光客に本県を訪れていただけるよう、地域の皆様と一緒に、日常の日本を体験できる観光資源の発掘に努めてまいらる。

「日本遺産」には、単一の市町村でストーリーが完結する「地域型」と複数の市町村にまたがってストーリーを展開する「シリアル型」の2種類あります。例えば、平安時代中期、日本古来の山岳信仰と外来の仏教、道教などが習合して修験道という日本独特の宗教が成立した修験道文化があります。これは、添田町英彦山、豊前市求菩提山にまたがった取り組みになりますから、プロジェクトを推進した場合、県の調整と役割が非常に重要になってきます。複数の市町村にまたがる「シリアル型」日本遺産への認定に積極的に取り組むように要望しました。

私は、外国人観光客誘客の課題は、宣伝・広報活動なんだと思います。県としては、宣伝・広報活動の取り組みと、日本語のできない外国人の立場にたった、観光ボランティアなどのソフト面の充実に加え、異国の地で安心して情報を得られるための、観光スポットでのWiFi環境や多言語案内表示など、ハード面の整備を要望しています。

特別委員会は、非常に広範囲かつ複雑なので議案等を能率よく専門的に審査するために設置されています。

「住・ひと・しごと創生調査特別委員会」
平成27年度管外視察（10月21日、22日）

- 1 地域中小企業の技術開発などの高度化支援策に関する諸調査
- 2 新規成長産業の創出支援策に関する諸調査
- 3 雇用対策に関する諸調査
- 4 農林水産業の競争力強化に関する諸調査
- 5 過疎地域、旧産炭地域及び中山間地域活性化並びに人口減少問題対策（移住・定住促進策）に関する諸調査



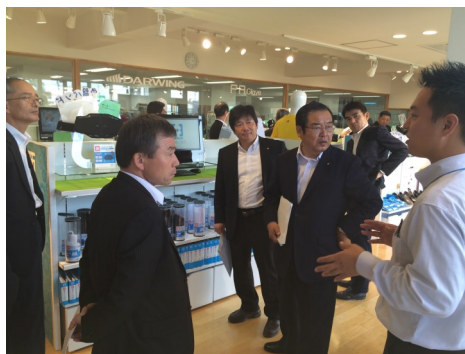
ダイヤ工業株式会社は、井草のサンダルから始まった事業が、変革の時代の中で新たな事業展開へと活路を見出し、現在ではコルセットなど整骨関連や健康サポーティングとして急成長されている会社です。事業の変革や会社がピンチになった時に、それをチャンスに変えてきたところに経営者としての力量が感じられます。新たな価値創造に果敢にチャレンジしている研究開発への投資が、成功要因の一つになっていると思いました。全国3万院の整骨院との連携が素晴らしい。



岡山市内にある有限会社スコレーでは、6次産業化の取り組みや海外研修生の受け入れ(70名近く)、農業高校生の実習などについて説明を受けました。ドラゴンフルーツや多品種のブドウなどを最初から加工品として商品開発しているところが、逆転の発想で面白く感じます。また、若い人が取り組める果樹生産について、ニーズ志向で取り組んでいるところが成功要因ではないかと思いました。



徳島県神山町のNPO法人グリーンバレー。たしか2,3年前に代表理事長が添田町で講演し、その後、懇親会で一緒に飲みながら話を聞いたことを思い出しました。サテライトオフィスに成功している地域で、こういった誘致は、人と人とのご縁だし、”人生粋に感じる”ところからしか始まらないと思います。香春町に誘致したCSKサービスウェアもそうですが、人脈と熱意、スピード感がポイントなんだと思います。神山町サテライトオフィス誘致、IT企業を中心に12社もの誘致に成功したところは視察としては必見でありました。



ルーツは福岡 夢は世界へ～未来につなごう福岡の絆～

福岡県人会～南米（パラグアイ・ブラジル・アルゼンチン）公式訪問（11月10日～21日）

海外福岡県人会は、各国へ移住した本県出身者相互の親睦を図るために、移住者が自主的に組織した団体です。異国の地で生きていくため、お互いに助け合い、心の支えにするために組織した団体で、百年余の長期間にわたり、故郷・福岡県に対する熱い思いを抱き、郷土の伝統・文化を大切にし守り続けている団体でもあります。現在、9ヶ国21県人会が設立されています。県人会は、移住国との相互理解・交流促進の架け橋であり、本県が国際社会の中で発展していくための貴重な財産と位置づけられます。

オリンピック・パラリンピックキャンプ地誘致レセプション

南米等福岡県訪問団

福岡県の移住は、明治初期のハワイ移住から始まり、メキシコ、ペルー、ブラジルなど中南米の移住で全盛期を迎えました。明治32年から昭和16年にかけて海外へ移住した者の総数は51,240人で、全国比で見ると655,611人の7.8%を占めます。世界大戦中は中断しましたが、戦後は石炭産業の衰退に伴って、ボリビア、パラグアイに多くの炭鉱労働者が移住しました。現在、9ヶ国で21の福岡県人会があり、約4,200人の会員がいます。

11月10日から11月22日の日程で、小川洋知事・井上忠敏議長並びに各会派の代表（自民党県議団：原口剣生議員、民主党：守谷正人議員、公明党：新開昌彦議員、緑友会：神崎聡議員）が南米等を訪問しました。

アルゼンチン福岡県人会が創立50周年、パラグアイ県人会が創立55周年を迎えるにあたり、両県人会において記念式典が開催されました。県では、海外県人会との絆をより強固なものにするために、記念式典に参加するとともに、この機会をとらえ、オリンピック開催を来年に控えるブラジル・リオデジャネイロにおいて、オリンピック関係者に向けた本県へのキャンプ地誘致のレセプションを開催しました。

①キャンプ地誘致活動

総領事館でのレセプション開催等

日時 平成27年11月12日

②アルゼンチン県人会創立50周年記念式典

日時 平成27年11月14日

③パラグアイ県人会創立55周年記念式典

日時 平成27年11月16日

その他、ブラジル・サンパウロでブラジル県人会主催交流会や駐サンパウロ日本国総領事と領事公邸にて意見交換会。在アルゼンチン日本国大使館を訪問し意見交換、アルゼンチン福岡県人会物故者追悼慰霊祭の参列のために西本願寺を訪問。パラグアイ福岡県人会物故者追悼慰霊祭、パラグアイ福岡県人会主催の懇親会。サンパウロから車で約1時間のサントスにある日本人移民の記念碑等を見学。ブラジル県人会の皆さん、そして県費留学生のOB、OGの皆さんと別れの会。また、アメリカ・シアトルでは、シアトルタコマ福岡県人会との交流会を行いました。



アルゼンチン福岡県人会創立50周年記念式典



パラグアイ福岡県人会創立55周年・創立55周年記念式典



在サンパウロ日本国総領事館

在アルゼンチン日本国大使館

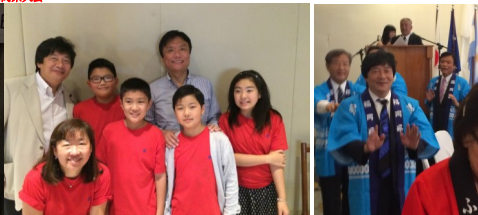
ブラジル福岡県人会



パラグアイ福岡県人会



在リオデジャネイロ日本国領事館



アルゼンチン福岡県人会



パラグアイ福岡県人会役員会



ブラジル県費留学生OB・OG家族



アメリカ・シアトル福岡県人会



日系人の皆さんが、日本とブラジルの友好の懸け橋として頑張っています。青少年交流や文化交流だけでなく、グローバルな視野での経済交流はできないものか。加速化している人口減少社会に対応したビジネスモデルの構築と、国のために日本人のために自分なら何ができるのか、役割と使命を見出ししていきたいと思います。

国際交流における県議会の役割は大きく、県議会と執行部との連携で、さらに地域間交流を推進します。

**福岡県タイ友好議員連盟（副会長）
バンコク都公式訪問（11月25日～29日）**

経済、環境、文化、教育、観光、青少年育成など幅広い分野で、日本国とタイ王国との交流を促進するとともに、その調査研究を行い、もって両国の相互理解と友好を深めることを目的とする。

タイ国・シーキウ市における福岡方式廃棄物処分場の竣工

11月25日から29日にかけてタイ国を訪問しました。福岡県とタイ国は、本県が平成18年度から実施している国際環境人材育成研修を通じて、環境に携わる行政官の人的交流を行ってきました。この交流を契機として、本県は、同国で初めてとなる「福岡方式（準好気性埋立方式）」による「シーキウ市廃棄物処分場」の建設に対する技術協力を行ってまいりました。この度、その竣工したことを受け、県議会として公式訪問してきました。また、本県が友好提携を締結しているバンコク都知事・バンコク都議会議長を表敬訪問し、今回で10台目となる消防自動車の寄贈を行いました。既に導入・活用されているサムセン消防署では、本県が寄贈した消防自動車による消火活動のデモンストレーションも行われました。

①シーキウ市廃棄物処分場

本県の技術支援を受けたタイ国ナコンラチャシマ県・シーキウ市廃棄物処分場を視察し、シーキウ市長をはじめ廃棄物処分場建設に携わってきた関係者との意見交換をしました。この処分場は、廃棄物の適正処理と生活環境の保全に取り組むタイの皆様の熱意と福岡県のすぐれた環境技術が結びついた大きな成果であります。今後も福岡方式（※）処分場の普及をはじめ、タイ国が抱える様々な環境問題の解決に向けて貢献してまいります。タイ側からも、シーキウ市処分場の成果を検証した上で、今後タイ国内の他の地域においても、福岡方式処分場を導入していきたいとの意向が示されました。

※福岡方式とは、準好気性埋立方式で、その原理・特徴は、埋立地内部に菅を通して外気を取り込みやすい好気状態にして、バクテリアの働きにより廃棄物を好氣的に分解することで、硫化水素ガスやメタンガス等の有害ガスの発生を抑制する方法です。好氣的な分解をすることで安定化までの時間も短くなります。

②バンコク都知事及びバンコク都議会議長の表敬訪問

バンコク都知事及びバンコク都議会を表敬訪問しました。福岡県とバンコク都は、2006年に友好提携締結以来、両地域が築いてきた友好の基盤の上に更に新たな取組を積み上げながら、2016年の友好提携10周年に向けて、交流をより一層推進していくことを確認しました。

③サムセン消防署での消火活動デモンストレーション

福岡県から寄贈された消防自動車による消火活動のデモンストレーションとバンコクが抱えている課題について意見交換してまいりました。消防署長からは、福岡県が頂いた消防車両はバンコク都民の命を守ってくれている。住民には必ず、「福岡県からの贈り物」と説明しているとの話がありました。こうした自治体間の取り組みによって、両国の国際交流と友好親善がさらに強い絆となっていることを実感しました。川崎町から寄贈された消防車両もしっかり活躍しています。

④タイ・ヤクルト本社訪問、タイ国福岡県人会及びタイ福岡OB会との意見交換会

タイ・ヤクルト本社を表敬訪問してきました。タイ国での事業内容などについて説明され、意見交換してきました。また、タイ福岡OB会と企業のタイ駐在のトップの方との意見交流会の場もあり、タイ国の実情や様々な業種の皆さんの業務内容・仕事内容を聞くことができ、非常に素晴らしい出会いでありました。今後、バンコク都議会にも働きかけをしながら、より企業活動が活発にできるようにさらに交流を深めていくようにしなければと思います。元留学生の方々によるタイ福岡OB会は、福岡県とタイとの交流にとって大変貴重な存在であり、これからも、福岡県とタイとの交流の架け橋となって頂けると幸いです。

サムセン消防署



バンコク都知事を表敬訪問



バンコク都議会議長を表敬



シーキウ市長を表敬訪問



福岡方式廃棄物処分場



サムセン消防署

川崎町消防団第2分団の消防車



福岡県果樹振興議員連盟（事務局長）
平成27年度現地調査（10月26日）

福岡県果樹振興議員連盟～県内果樹生産地の活性化と果樹農家の発展を図るとともに、幅広い分野に関する調査研究を行うことにより、本県農業の振興に寄与することを目的とする。



山川町伍位軒地区みかん栽培園は、標高180mを中心に集落があり、総戸数29戸で110人の総人口と小さな集落で、みかん専業農家が27戸。1戸あたりのみかん平均経営面積は2haで、JAみなみ筑後柑橘部会の平均1haの2倍となっているとのことでした。低コスト園地整備や農道拡幅等の生産環境整備に取り組むとともに、地域内で発見した新品種「北原早生」のシートマルチ栽培でブランド商品の生産拡大に取り組み、安定した農業経営を実現しています。



JAみなみ筑後山川総合集出荷施設では、みやま市長の西原市長とJAみなみ筑後の乗富組合長にも出席して頂き、柑橘部会の産地概況や国と県の事業活用、生育状況などの説明がありました。

9月11日に竣工式を迎えたばかりの、みかん選果機を導入した施設の見学しました。約8億7千7百万円余の施設は、総合集出荷施設の再編整備により、総合力を高め有利販売につなげるとともに人件費の削減や作業環境を整えることで雇用の確保にもつながっています。



道の駅みやまは、平成23年3月27日に開駅し、直売所売上高は26年度実績で7億9千万余。年間買い上げ客数は平成26年度55万人となっています。安全・安心な農産物生産及び出荷対策について、駅長から説明を受け、少しでも売り上げに貢献できるように、議連の皆さんと一緒に直売所で買い物をしてきました。このリピート率の高さを見習わなければならないと思います。



この陳情を受けて、城戸教育長から以下の趣旨の回答がありました。
「田川高校の管理棟については、昭和40年から建築され、築50年程度となっていることから、大規模改修や改築を検討する時期が近づいているものと認識しています。一方で、県内には老朽化した県立学校校舎が多数あることや、予算編成の観点から、老朽化した建物を改修して長く利用する「長寿命化」が進められており、改築が難しくなっている状況にあります。
県の財政状況は、厳しい状況が続いていますが、神崎県議から、現在の学校施設の状況を憂慮され、6月議会の予算特別委員会に於いて、学校施設の改築を含めた老朽化対策が今後一層進むようにと、応援をいただいております。教育委員会として大変感謝しているところであります。
今後も厳しい状況は続きますが、陳情内容を十分に検討させていただき、神崎県議から引き続き応援を受けて、平成29年の創立100周年に向けてできるかぎり必要にこたえられるよう努めたいと考えます。」

現在の校舎は、昭和40年の全面改築から既に50年程度が経過しており、老朽化が著しく、一般的な維持修繕等では対応できない状況となっております。福岡県でも有数の歴史と実績を誇る県立高校において、その教育環境が損なわれるような事態を解決し、地域を担う有為な人材の育成が効果的に実現できる教育環境を整備しなければなりません。
この陳情を受けて、城戸教育長から以下の趣旨の回答がありました。
「田川高校の管理棟については、昭和40年から建築され、築50年程度となっていることから、大規模改修や改築を検討する時期が近づいているものと認識しています。一方で、県内には老朽化した県立学校校舎が多数あることや、予算編成の観点から、老朽化した建物を改修して長く利用する「長寿命化」が進められており、改築が難しくなっている状況にあります。
県の財政状況は、厳しい状況が続いていますが、神崎県議から、現在の学校施設の状況を憂慮され、6月議会の予算特別委員会に於いて、学校施設の改築を含めた老朽化対策が今後一層進むようにと、応援をいただいております。教育委員会として大変感謝しているところであります。
今後も厳しい状況は続きますが、陳情内容を十分に検討させていただき、神崎県議から引き続き応援を受けて、平成29年の創立100周年に向けてできるかぎり必要にこたえられるよう努めたいと考えます。」

9月2日、福岡県立田川高等学校の校舎（第一棟）改築等に関する陳情が県教育委員会教育長室で行われました。同窓会長・校長・PTA会長・同窓会顧問・学校参事が出席し、城戸教育長に陳情書が手渡されました。
表質問（筑豊地区の学力向上・県立高校教員の広域の人事異動・普通科高校における学力向上の取り組み）
平成26年2月定例会一般質問・県立高校の食堂における危機管理、平成26年9月定例会代表質問（中高一貫教育における地元中学校への効果及び今後の取り組み）
平成27年予算特別委員会（県立学校の老朽化施設について）
県立田川高等学校は、田川地域のシンボルの存在であり、地方創生の人材を輩出する重要な核となり役割を担っており、これからの地域のかかわりを深める必要があります。
田川地域の学力低下の問題は、県政にとって大きな課題であり、実は小・中学校だけの問題ではないと思っています。何よりも、田川地域の進学校である県立田川高等学校の改革こそが、田川地域の課題解決に向けた一丁目一番地じゃないかと思っています。平成32年より大学入試改革など、国において大きな教育改革が行われている時期から、この改築のハード面とともに、教員の資質力向上や教育内容や方法にも力を入れて頂きたいと思っています。
今後とも、県教委と学校、またPTAと同窓会、地域の皆さんが、一丸となつて、創立100周年に向けて、そして次の100年へと「水平線」に突起をつくって！の校訓の通り、人材育成に努めていくように頑張りたいと思います。



今後とも、県教委と学校、またPTAと同窓会、地域の皆さんが、一丸となつて、創立100周年に向けて、そして次の100年へと「水平線」に突起をつくって！の校訓の通り、人材育成に努めていくように頑張りたいと思います。

これまで母校である県立田川高等学校を念頭に置いた質問は、様々な角度から何度もしてきました。平成24年6月定例会代表質問（中高一貫教育）、平成25年9月定例会一般質問（県立高等学校同窓会）、平成25年12月定例会代表質問（筑豊地区の学力向上・県立高校教員の広域の人事異動・普通科高校における学力向上の取り組み）
平成26年2月定例会一般質問・県立高校の食堂における危機管理、平成26年9月定例会代表質問（中高一貫教育における地元中学校への効果及び今後の取り組み）
平成27年予算特別委員会（県立学校の老朽化施設について）
県立田川高等学校は、田川地域のシンボルの存在であり、地方創生の人材を輩出する重要な核となり役割を担っており、これからの地域のかかわりを深める必要があります。
田川地域の学力低下の問題は、県政にとって大きな課題であり、実は小・中学校だけの問題ではないと思っています。何よりも、田川地域の進学校である県立田川高等学校の改革こそが、田川地域の課題解決に向けた一丁目一番地じゃないかと思っています。平成32年より大学入試改革など、国において大きな教育改革が行われている時期から、この改築のハード面とともに、教員の資質力向上や教育内容や方法にも力を入れて頂きたいと思っています。
今後とも、県教委と学校、またPTAと同窓会、地域の皆さんが、一丸となつて、創立100周年に向けて、そして次の100年へと「水平線」に突起をつくって！の校訓の通り、人材育成に努めていくように頑張りたいと思います。

県立田川高等学校校舎全面改築等に関する要望活動

ご案内を頂く行事や要望も増え、誠心誠意ご期待に応えるように頑張っています。

第50回記念大会～添田町公民館地区対抗球技大会

田川県土整備事務所への地元からの要望（英彦山香春線）



麻生OB会

筑豊地区商工会と県議との勉強会

敬 老 会



喜寿会秋まつり

豊徳祭

田川郡身体障害者体育大会

田川護国神社秋季大祭

添田町戦没者慰霊祭

添田神社秋季大祭



飯塚駐屯地49周年記念式典

暴力団追放！地域決起大会

筑豊中小企業経営者協会

筑豊地区空手道選手権大会

貴乃花部屋激励会



あさぎまだらフェスタ2015

へいちくフェスタ・福智フイツ大茶会

添田町ふる里祭り・岩石城まつり

MOA美術館田川児童作品展



TAGAWAコルマイン・フェスティバル 炭坑節まつり

ふる里かわら秋まつり

上中元寺薬師堂大祭



福岡県立大学秋興祭

赤村文化祭

糸田町文化祭

福智町文化祭

まつり川崎（上田川ライオンズクラブ）



英彦山男魂祭

添田町総合文化祭

添田町殿町白山宮権現祭り

興国寺千手観音御開帳祈願大祭

伊良原ダム定礎式



知事のふるさと訪問（10月20日）
糸田町・福智町・香春町

エコスクールに認定されている糸田小学校では、地熱や太陽熱、雨水を利用する校舎の仕組みについて、6年生の皆さんとの交流では、知事から「チャレンジする気持ちを忘れずに」「好きなことを見つけたら続ける努力を」「友だちを1人でも多くつくと」とメッセージがありました。

物産直売所「おじゅごんち市場 からすお」
売り場見学と出荷者の皆さんとの交流



鉄道の安全運行を支える指令室を見学した後、列車の運転を体験。平成筑豊鉄道では、10～25名の団体を対象に指令室の見学と運転体験を行っています。



完成したばかりの柿の加工場を見学し、生産者の皆さんと交流。
採銅所の干し柿は、皮むきから2週間で短期間に仕上げるのが特徴です。



今年で開業100周年を迎えたJR日田彦山線・採銅所駅を見学。大正4年の開業時以来使われている駅舎は、町有形文化財の九州最古級の木造駅舎です。



略歴

昭和63年 浜田町立浜田中学校卒業
昭和66年 福岡県立田川高等学校卒業
昭和68年 日本大学商学部会計学科卒業
昭和69年 産生セメント株式会社入社
平成2年 株式会社産生情報システム転籍（分社化）
平成12年 株式会社産生情報システム 取締役
平成13年 株式会社産生情報システム 代表取締役
平成23年 福岡県議会（田川郡区）初当選
平成27年 福岡県議会（田川郡区）2期目の再選

福岡県議会での主な所属

緑友会福岡県団 副会長
福岡県議会運営委員会 理事兼委員
県議会広報編集委員会 委員
県土整備常任委員会 委員
住・ひと・しごと創生調査特別委員会 委員
県議会常任委員会 理事兼委員
福岡県河川協会 参与

福岡県文化議員連盟 副会長
福岡県タイ友好議員連盟 副会長
福岡県樹木振興議員連盟 事務局長
福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 会計幹事
福岡県日韓友好議員連盟
福岡県日米友好議員連盟
福岡県国際交流推進議員連盟
福岡県タイ友好議員連盟
福岡県ベトナム友好議員連盟
福岡県日台友好議員連盟
福岡県防衛議員連盟
過疎地域活性化対策福岡県議員連盟
産地地域活性化対策福岡県議員連盟
オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟
福岡県観光産業振興議員連盟
福岡県スポーツ議員連盟
九州・沖縄未来創造会議
九州の自立を考える会
福岡県農連
日本会議福岡支部 幹事
田川道方ババース延伸推進期成会 顧問
田川広域観光協会 理事

こうざき事務所
〒824-0802 田川郡糸田町大字糸田1417
TEL: 0947-41-3880 FAX: 0947-41-3881
こうざき 事務所 ホームページ <http://www.kouzakisatoshi.com/> 検索

■平成27年9月	
9月1日	地域医療福祉調査活動
9月1日	香春町観光協会
9月2日	県教委（田川高校改築要望活動）
9月3日	上田川ライオンズクラブ
9月4日	田川県土整備事務所 道路建設要望
9月6日	三船元県議 叙職祝賀会
9月7～9日	東京出張～麻生事務所・三井物産他
9月11日	県議会運営委員会、議員総会
9月12日	県立高校体育大会
9月13日	浜田町公民館対抗球技大会
9月14日	県議会広報編集委員会、政策審議会
9月14日	県執行部幹部との意見交換会
9月15日	柏木商店会
9月16日	県教委幹部との意見交換会
9月17日	福岡県スポーツ協議会
9月18日～10月9日	県議会9月定例会
9月18日	県文化議員連盟
9月18日	筑豊地区商工会と県議との懇談会
9月19日	エコミカルネットワーク
9月20・21日	浜田町敬老会
9月24日	議員総会、政策審議会
9月24日	井上忠敏福岡県議会議員就任祝賀会
9月25日	福祉施設秋まつり
9月26日	赤池福祉会四保育所～体育のつどい
9月27日	政策審議会
9月28日	議会運営委員会、代表質問
9月29日	日本会議福岡県議員連盟役員会
9月29日	議会運営委員会、代表質問
9月30日	福岡県タイ友好議員連盟役員会
9月30日	地域振興学会バンケットパーティ
■平成27年10月	
10月1日	議会運営委員会、一般質問（神崎）
10月1日	過疎地域活性化対策議員連盟総会
10月2日	議会運営委員会、一般質問
10月2日	上田川ライオンズクラブ例会
10月3日	豊徳祭
10月4日	田川郡身体障害者体育大会
10月5日	議会運営委員会、政策審議会、一般質問

10月5日	県果樹議員連盟
10月5日	J Aグループ福岡から緑友会へ要望書
10月6日	議会運営委員会、一般質問
10月6日	県土整備常任委員会
10月6日	森林・林業・林産業活性化議員連盟
10月6日	飯塚農林事務所と地元県議意見交換会
10月7日	観光戦略政策勉強会
10月8日	九州の自立を考える会臨時総会
10月8日	原竹岩福岡県議会副議長就任祝賀会
10月9日	議会運営委員会、本会議（閉会）
10月9日	松山政司参議院議員を励ます会
10月10日	自衛隊飯塚駐屯地創立49周年記念式典
10月11日	田川町地区敬老会
10月13日	暴力団追放！地域決起会議
10月15日	I T関連企業との勉強会
10月16日	田川農園神社秋季大祭
10月17日	日本大学校友会北九州支部総会
10月18日	浜田神社秋季大祭
10月19日	美術文化振興に関する調査活動
10月20日	浜田町戦没者慰霊祭
10月20日	知事ふるさと訪問（糸田・福智・香春）
10月21～22日	住・ひと・しごと創生調査特別委員会管外視察（岡山県）
10月23日	県議会広報編集委員会
10月24日	へいちくフェスタ2015福智マツ大茶会
10月24～25日	浜田町ふるさとまつり・岩石城祭り
10月24日	岳陽同窓会
10月25日	あさぎまだらフェスタ2015
10月26日	福岡県果樹振興議員連盟管内視察
10月27～11月6日	決算特別委員会
10月27日	筑豊中小企業経営者協会との勉強会
10月28日	地域振興に関する調査活動
10月29日	J A福岡県青協60周年記念式典
10月30日	県議会広報編集委員会
10月31日	第10回TAGAWAYCOOLFESTIVAL
■平成27年11月	
11月1日	ふるさと秋まつり
11月1日	上中元寺薬師寺大祭
11月2日	医療情報に関する調査活動
11月3日	豊前坊院天宮寺（英彦山奉幣殿参拝）

11月3日	上津野収穫祭
11月3日	九州場所貴乃花部屋後援会
11月4日	農政問題に関する調査活動
11月5日	過疎対策に関する調査活動
11月6日	防災情報に関する調査活動
11月6日	上田川ライオンズクラブ例会
11月7日	第41回浜田町総合文化祭
11月7日	まつり川崎
11月7日	福岡県立大学秋祭
11月7日	白山権現祭り
11月7日	浜田町文化祭、赤村文化祭、いとだ祭
11月8日	筑豊地区空手道選手権大会
11月8日	第20回英彦山男魂祭
11月8日	MOA美術館田川児童作品展
11月8日	福智町文化祭
11月8日	奥国寺千手観音御開帳祈願大祭
11月9日	県議会県土整備委員会
11月10～21日	南米・米国公式訪問（議会代表）
11月24日	住・ひと・しごと創生調査特別委員会
11月25～29日	タイ王国バンコク都他公式訪問
11月29日	伊良原ダム竣工式
11月29日	第38回演奏会田川合唱団
11月30日	田川警察署安全安心特別警戒出動式
12月1～18日	県議会12月定例会
12月2～4日	政策審議会
12月4日	議会運営委員会
12月7日	代表質問
12月7日	福岡県文化議員連盟役員会
12月7日	福岡県観光振興議員連盟
12月8日	代表質問、議会運営委員会
12月8日	福岡県タイ友好議員連盟役員会
12月9日	議会運営委員会
12月9～11日	一般質問
12月9日	福岡県台湾友好議員連盟意見発表会
12月10日	オイスカ西日本研修センター海外研修生
12月14～16日	常任委員会
12月17日	J A県青協意見交換会
12月20日	第51回福岡県スポーツ推進委員研修大会
12月20日	第10回マツ大茶会を歌うばい文化がわ
12月20日までの主な日程を記載しています。	